岸田政権の原発推進政策と関西電力の老朽原発運転に関する申し入れ

関西電力（関電）は、運転開始後４０年をはるかに超え、超危険な老朽原発・美浜３号機を運転し、高浜１、２号機の６月、７月稼働を画策しています。私たちは、各自治体に以下の内容の申し入れをする活動を、３月初めから開始しました。

私たち「老朽原発うごかすな！実行委員会」は、以下の理由により、とりわけ危険な老朽原発の運転に反対し、原発の全廃を訴えています。

①原発はトラブル多発の装置です

若狭の原発では、最近の２年間だけでも、過酷事故に至りかねないトラブルが頻発しています。トラブルは、運転開始後４６年の老朽原発・美浜３号機だけでなく、４０年に至らない原発でも頻発しています。関電が本年６月、７月に目論む老朽原発・高浜１号機（４８年超え）、２号機（４７年超え）の再稼働などもっての外です。

②原発で過酷事故が起こったとき、被ばくなしでの避難は困難

政府や原発立地自治体は、原発過酷事故を想定した避難訓練を行っています。それは、原発は重大事故を起こしかねないことを、政府や自治体が認めているからです。ただし、現行の「避難訓練」は、わずかの期間の避難で、原発事故では住民全員が、何年も、何十年も、あるいは永遠に故郷を奪われること、放射性物質による汚染は極めて広域におよぶことをあえて無視しています。

滋賀申し入れ（３月１９日）

また、「避難計画」は、住民の大量被ばくを前提にしています。例えば、原発で過酷事故が起こったとき、原発から５キロ圏内の住民は即時避難となっていますが、それ以外の住民は屋内退避となっていて、放射能汚染レベルが自然放射能の１万倍の５００マイクロシーベルトになって、やっと避難を始めることになっています。一斉避難は不可能であるから、原発周辺住民の大半は「大量被ばくするまで待て」としているのです。

③原発を動かせば、処分法も定まらず、中間貯蔵すら引き受ける場所もない使用済み燃料があまります

原発を動かせば、何万年もの保管を要する使用済み核燃料がたまります。関電は２０１７年、「若狭の原発でできた使用済み核燃料の中間貯蔵候補地を、２０１８年末までに福井県外に探す」と明言し、西川前福井県知事の大飯原発再稼働への同意を取り付けました。しかし、関電は、この約束をホゴにし、「候補地提示期限を２０２０年末まで」と再約束して原発の運転を継続し、使用済み核燃料を増やし続けました。さらに関電は、再約束の期限もホゴにし、１昨年２月１２日には、候補地提示期限を「２０２３年末まで」と先送りし、「この期限が守られなければ老朽原発を停止する」として、杉本福井県知事の老朽原発・美浜３号機再稼働への同意を取り付けました。なお、関電が「２０２３年末を期限」とした拠り所は、青森県むつ市の中間貯蔵施設の利用の可能性ですが、宮下むつ市長はこれを否定し、猛反発しています。

滋賀申し入れ（３月１９日）

関電は、何の成算も無く「空約束」を繰返し、平気でそれをホゴにした、倫理のかけらも持ち合わせない企業です。

④日常的には、電気は足りています（余っています）

老朽原発うごかすな！ニュース

第９３号

発行・老朽原発うごかすな！
実行委員会

［連絡先］
090-1965-7102

一時的に電力がひっ迫しても、節電によって乗り切れます。このことは、昨年３月の地震と寒波に起因する東北、東京エリアでの電力不足を節電で乗り越えた実績が証明しています。３月の電力不足では、原発５基分（１基１００万キロワットとして）もの節電が行われたのです。

昨夏の猛暑も、今冬の厳寒も、停電することなく乗り切れています。

なお、日常的節電による電力需要削減は、発電所の新設と同じ価値があります。国民（約１億２５００万人）１人ひとりが１００ワット節電すれば、１２５０万キロワット（原発１０基分以上）の電力需要を抑制できます。

電力需給ひっ迫を口実に、人々や環境に放射線被ばくを強い、負の遺産・使用済み核燃料を残す原発を推進することは誤りです。

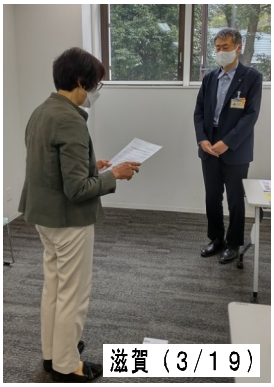
⑤「原発依存社会」は失政の「つけ」です

岸田政権の「原発依存社会」への暴走は、福島原発事故以降の政権が、事故の教訓を生かさず、原発維持にこだわり、自然エネルギーへの全面切り替えを怠った結末です。もし、原発に費やされた税金や電気料金が、自然エネルギーを利用する電源、大容量の蓄電法、省エネ機器の開発と普及に回されていれば、原発不要の社会を築けたはずです。

日本は、太陽光にも、水にも、風にも、地熱にも恵まれています。先見の明がある政権であったなら、今頃、核燃料や化石燃料の必要のない社会を実現し、世界をリードできたでしょう。

島本町申し入れ（３月１４日）

ところで、○○市役所は高浜原発から約７０キロ、美浜原発から約９０キロの地点にあります。このことと、福島原発事故では、約５０キロ離れた飯舘村が全村避難になり、約２００キロ離れた関東にも高濃度の放射性物質が降下したことを考え合わせますと、高浜や美浜の原発で重大事故が起これば、約■万■千人が住む○○市も避難対象地域になる可能性があります。


滋賀（3/19）

一方、高浜原発、美浜原発からびわ湖水系までは、最短距離で各々約４０キロ、約７５キロです。びわ湖水系が放射性物質で汚染されれば、○○市民だけでなく関西一円の多くの地域、人々が飲用水などの生活水を失います。このように、○○市は、若狭地域同様に、原発事故被害地になる可能性があります。

以上の視点に立って、「老朽原発うごかすな！実行委員会」は、○○市長に、以下を申し入れます。

【１】岸田政権の原発推進政策は、市民に塗炭の苦難を与える過酷事故を招きかねず、子々孫々にまで負の遺産となる使用済み核燃料をさらに蓄積させます。現在および未来の市民の立場にたって、原発推進政策にＮＯを表明し、脱原発を求めてください。

【２】関電と政府に、危険極まりない老朽原発・美浜３号機の運転と老朽原発・高浜１、２号機の再稼働準備の即時中止およびこれらの原発の廃炉を求めてください。

【３】原発を動かせば、行き場のない使用済み核燃料が増加します。関電と政府に、全ての原発の停止と、安全な廃炉を求めてください。

【４】関電に、使用済み核燃料の安全な保管地と安全な処理・保管法を早急に提示するよう求めてください。

【５】原発が稼働する限り、○○市全域が過酷事故の被害地になりかねません。○○市として、過酷事故への対応策を示し、全市民の避難訓練を実施してください。

【６】若狭の原発で過酷事故が起こったとき、○○市も▼▼市からの避難者を受け入れることになっています。しかし、このことが○○市民に周知されているとは考えられません。避難者受け入れ計画の詳細を広報し、議論を喚起してください。

以上申し入れます。

老朽原発高浜１，２号機